

また、私が「万弥ちゃんは男の子の親から非難された
周辺の男の子について警察が調べることになり、男の子の親から非難された
こともありました。」

六 万弥ちゃんは、私が警察官に話したのち一週間ほどして、死体で発見され
ましたが、三、四か月の間は、警察官がお店の周りを色々調べて回っており
ました。

七 ところで、私が万弥ちゃんの最後に姿を見て、一〇年以上も経った平成三
（一九九二）年の一二月の年も押し詰まった頃のことですが、私の当時の勤
務先だった新田町の西尾産婦人科病院に、いきなり警察がバトカーで乗り付

け、万弥ちゃん事件のことで話を聞きたいと言ってきたのです。正直言って
相当困惑しました。私が警察沙汰になることに関わっているように職場の人
に思われると思ったからです。

仕方なく、私は病院のロビーで応対しましたが、そこで警察官（名前は覚
えていませんが、事件当時の警察官ではありません）から、「実は、万弥ちゃんの
ことについて、事件当時のあんたの供述と、真実ちゃん事件で逮捕された菅
家という男の供述が食い違っているんだ。あんたが万弥ちゃんを見たとい
うときは、万弥ちゃんはまだ死んでいなかったよな。このままでは、あんたの供
述が邪魔なんだよ。供述を変えてほしいんだ。」などと言われました。また、
正確な表現は覚えていませんが、「このままでは裁判が不利になってしま
う」というようなニュアンスのことも言われました。私は、当時私が話したこと
は間違いないと思っていましたが、そのときは、事件に巻き込まれるのが嫌
だったために、「いいですよ」と答え、警察官の求めに応ずることにしまし
た。

年が改まり平成四年になってからのことだと思いますが、足利警察署に出
頭を求められ、警察官の事情聴取に応じました。しかし、私としてはどのよ
うに供述していいのか分かりませんので、黙っていますと、警察官が私の供
述を勝手に書き、結局、「私は一週間くらい前の出来事と取り違えておりま
した」という内容の供述調書が作成されました。書き改められた調書では、
私が万弥ちゃんを見た時刻については何も書かれていなかったと思います。